

13
1961
75

75



假名手印胸の後
鬼殺心角標

京傳

1卷

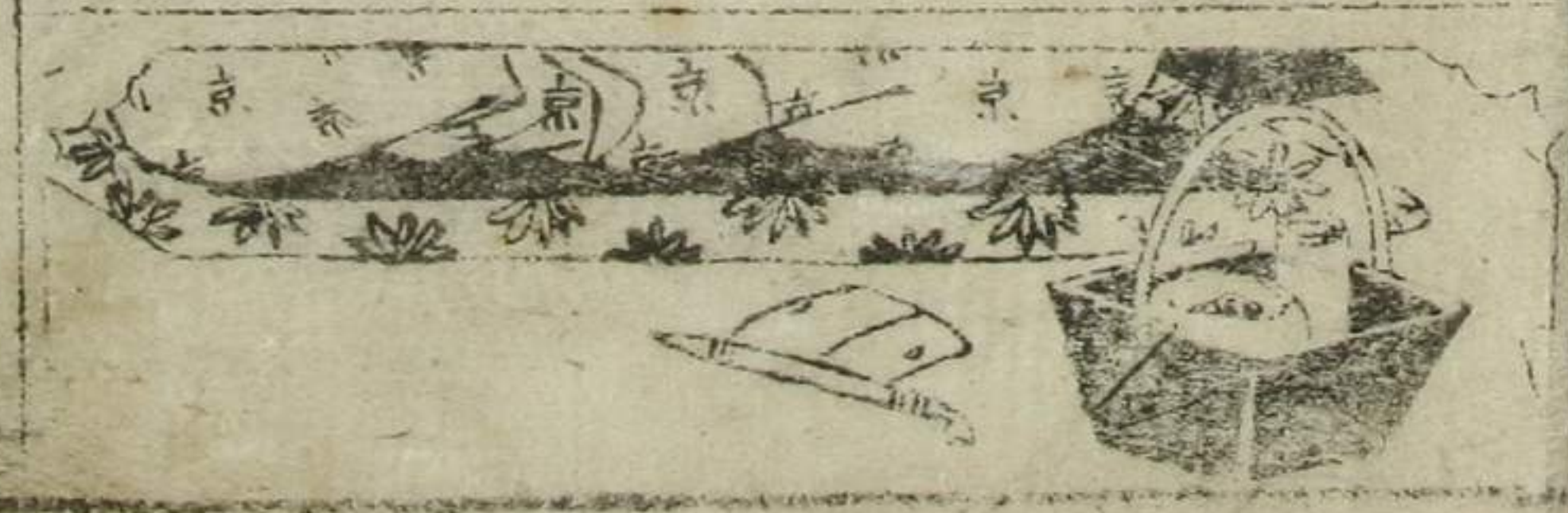
遠
1981
40

1961
75

信
本
胸
之
鏡

本胸之鏡

此の鏡は、昔の君子が、
心を正すために、
胸に掛けて、
常に自分の心を
照らすために
用いたと云う。
その鏡は、
石で作られた
もので、
非常に堅く、
磨かると
非常に光る。
その鏡は、
君子の心を
正すために
用いたと云う。
その鏡は、
君子の心を
正すために
用いたと云う。

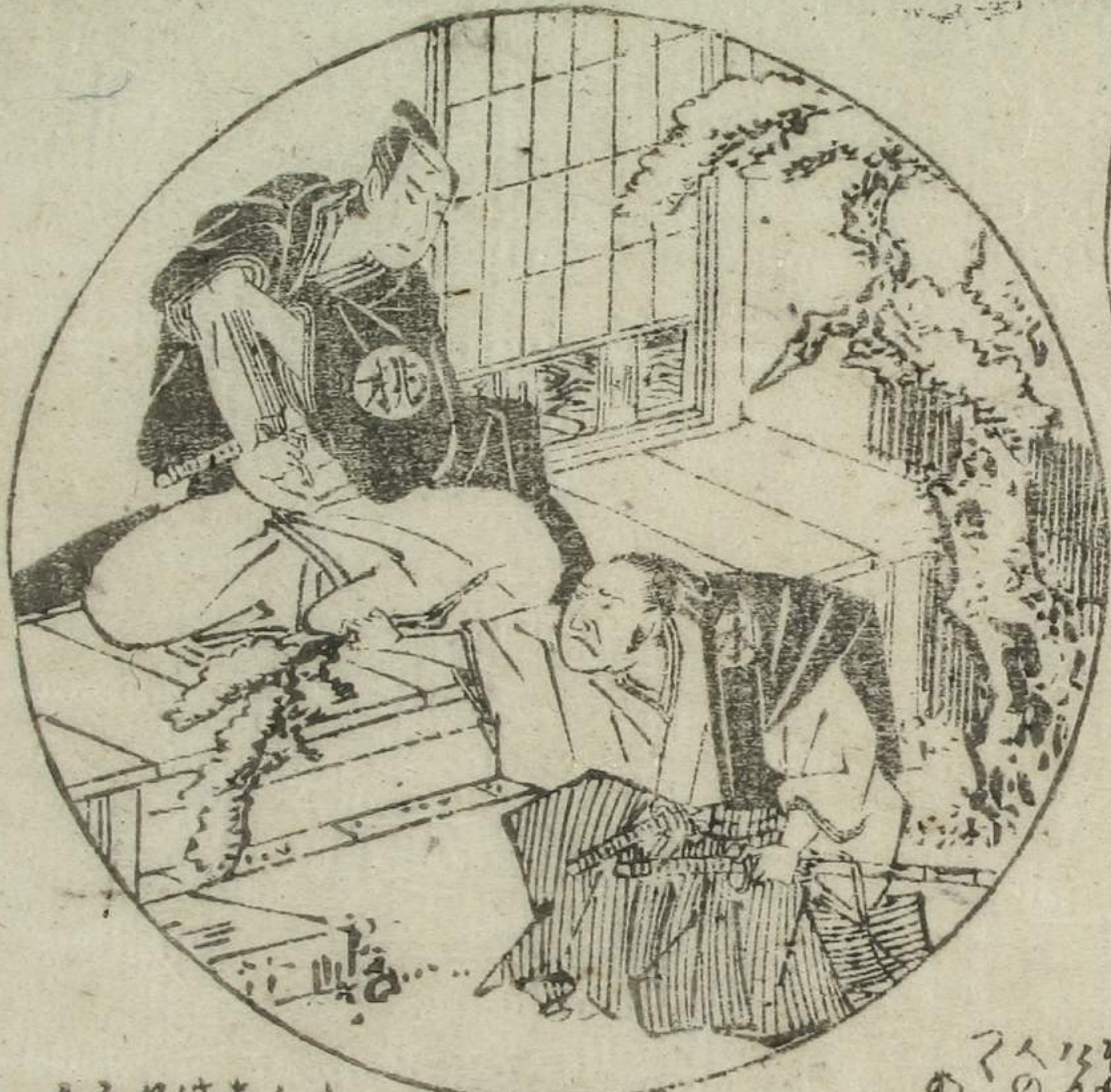


雲一顧
君子須
認印信為真

醒世老人京傳子



信本



桃
 此の桃は
 桃太郎の
 母の産んだ
 桃の内の
 一つである
 といふ

短氣之鏡
 短氣之鏡



此の鏡は
 短氣の
 人の心を
 映し出す



正氣
 大心
 短氣
 正氣は
 大心
 短氣は
 小心

此の短氣は
 人の心を
 映し出す
 といふ



うんぬんがらろのどまりて
 りんどうしきひんどうりあ
 がとととひんどうしきひんどう
 きんどうのど

破忍之鏡



人のつらさうまうま
 下さあひんあんの
 三字ありあんの
 かんとせふれが
 につけてその
 ひんあんの
 のりてかんあんの
 まりんとあやめる
 おやんの
 わかんとあやめる
 かんあんの
 やいんと
 いんあんの
 まりんと
 まりんと
 まりんと

かんあんの
 いんあんの
 まりんと
 まりんと

これいんあ
 こしんあ
 せうの

いんあ
 こしんあ
 せうの



なんでもいかにして
 むらがりつま子
 かしつひふるけきと
 けり人びまやうらん
 したるこころ

短慮之鏡



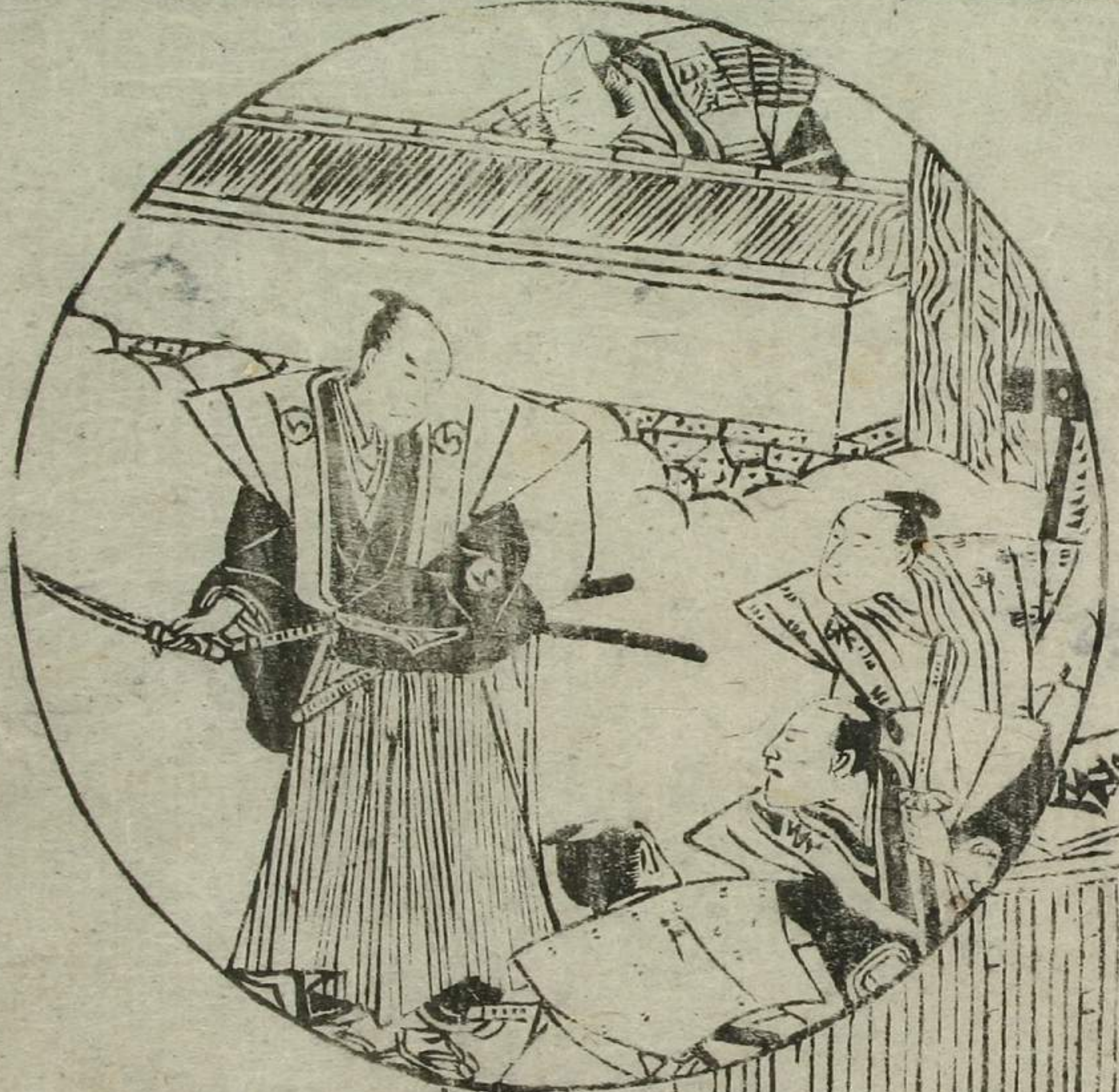
いかにいかにして
 しのぶこころ
 せん

あはれ

我
 心
 けいせいのこころ
 せん
 あんきよめ
 こころのこころ
 一人のこころ
 けいせいのこころ
 せん
 あんきよめ
 こころのこころ
 一人のこころ
 けいせいのこころ
 せん



けいせいのこころ
 せん
 あんきよめ
 こころのこころ
 一人のこころ
 けいせいのこころ
 せん



いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと

大助の鏡

いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと



いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと

いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと



いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと



いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと



いふとこのひ
大ゆとこの人か
いかにいふらん
い人のこと



